

決算特別委員会各分科会における概要

【商工労働観光分科会】

- ◆ 10月26日（水）開会 午前10時00分
（休憩 午前11時08分～午前11時18分）
閉会 午前11時52分
- ◆ 10月27日（木）開会 午前10時00分
（休憩 午前10時56分～午前11時09分）
閉会 午後 0時19分
主 査 五十嵐智洋（自由民主党）
副主査 小松 伸也（自由民主党）
委 員 関 徹、吉村 和武、奥山 誠治

◆付託案件

- ・令和3年度山形県一般会計歳入歳出決算中 本分科会所管分
- ・令和3年度山形県小規模企業者等設備導入資金特別会計歳入歳出決算
- ・令和3年度山形県土地取得事業特別会計歳入歳出決算

◆審査内容

付託決算の審査にあたっては、産業労働部長、観光文化スポーツ部長及び労働委員会事務局長から決算の概要及び主要な施策の成果と実績について、関係課長から内容の詳細について説明を聴取し、質疑を行った。

◆採 決

付託された3決算については、全員異議なく、いずれも認定すべきものと決定した。

（主に議論された項目）

- ◇やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業の実績について。また、交流人口拡大に取り組んでいる中、さくらんぼ収穫時における労働力不足の現状を踏まえた、農林水産部と連携した取組みの必要性に対する監査委員の所感について。
- ◇女性の賃金向上推進事業の支給実績について。また、賃金向上の取組みをさらに進めるうえでの課題について。
- ◇商工業振興資金の融資実績について。また、新型コロナによる影響を要因とする県内事業者の倒産状況について。
- ◇東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンにおける事前合宿の実施状況について。また、ホストタウン相手国との今後の交流促進に向けた県の支援について。
- ◇有機エレクトロニクス分野における山形大学と県内企業による共同研究の実績及び今後の取組みに向けた考え方について。
- ◇宮城県と合同で開催した、関西圏における期間限定アンテナショップの実施状況について。また、今後の出店に当たっても、商品のすみ分けを図りながら近隣県と連携した取組みが効果的と考えるかどうか。
- ◇東北デスティネーションキャンペーン事業の成果について。また、さらなる観光誘客に向けた今後の取組みについて。